

# 水車

学校教育目標：「瞳を輝かせ めあてをもって やりぬく金勝っ子」  
 めざす学校：あいさつができる学校 いのちを大切にできる学校 うつくしい学校  
 え顔あられる学校 おもいやりのある学校

ひにんちのうりよく はくく ばめん たいせつ  
 「非認知能力を育む場面を大切に」 校長 川那部 隆徳



41日間の夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。  
 夏休み中、保護者や地域の皆様があたたかく見守ってくださったことに心より  
 感謝申しあげます。

夏休み明けは、生活リズムをはじめ、生活環境に大きな変化があり、子どもたちがプレッシャーや精神的なストレスを増幅しがちな時期です。特にこの時期、子どもたちの些細な変化をしっかりと見守ること的重要性は多方面で指摘されています。夏休みの宿題がまだ残っていてプレッシャーになっている、夜泣く、夏休み前や夏休み中の様子と異なるなど、子どもたちの状態や変化にご注意ください。

様々な行事がある9月以降は、子どもたちの「非認知能力」を育てる絶好の時期といえるでしょう。非認知能力は、数値化しやすい学力を表す認知能力とは異なり、忍耐力や人との関係を築く力、自身の感情をコントロールする力など社会を生き抜くために必要な力です。今、栗東市では「栗東子育て教育Nextプロジェクト」と冠し、この非認知能力を育成する取組を進めています。

まず、非認知能力を育てるという視点で様々な学習や行事をとらえることが重要だと考えています。運動会団体競技の高学年リレー種目を例に挙げると、通常、「目標の設定ー練習ー本番」という学習の流れです。そこで、それぞれの過程でいかに各個人の思いを反映させ、意思疎通しながらチーム全体の力の向上を図るかという点が重要となります。バトンパスに課題があるのであれば、それを克服するための相談、練習での検証と振り返りを繰り返すこととなります。そして、互いにアドバイスしながら個々の課題を明確にし、少しでもその解決につながるようにチームとして努力していきます。そうすることで自身の力を高め、自分と向き合い、他者とつながる力の育成につながっていくと考えています。このことが、結果の良し悪しのみにはこだわらず、努力した自分自身、チームの仲間を肯定的にとらえることができ、みんなと頑張っただけという思いを持つことができるようになります。

非認知能力の育成には、保護者や地域の皆様のご理解、ご協力が不可欠です。よろしくお願いいたします。

## 【お願い】

- 9月以降も、暑さ厳しい日の続くことが予想されます。運動会の練習も始まります。熱中症予防には、こまめに水分を取ったり屋外では帽子をかぶったりすることが大切です。大きめの水筒や複数の水筒を持参するなど、熱中症対策につきまして、引き続きご留意ください。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されます。感染症対策につきましても、引き続きご留意ください。